違いを認めあい共に生きる社会を
～いきみなみ人権尊重推進委員会～

4月21日、戸切人権のまちづくり館で人権尊重推進協議会総会を開催しました。

総会は「人権のまち宣言」の唱和からはじまり、壱岐南小学校の高田幸平校長を議長に選出して議案審議を行い、すべて原案どおりに承認されました。

今年度の事業として、引き続き「人権のつどい」「町別人権研修会」を活動の大きな柱にして校区全体の啓発活動を行っていきます。また、理事・運営委員対象の視察研修や「あすなろ解放学級」との交流、「いきみなみ男女共同参画推進会議」と共催の講演会などを予定しています。そのほか7月に開催予定の「西区人権を考える集い」と12月に予定されている「福岡市人権を尊重する市民のつどい」を理事・運営委員の研修として位置づけ、積極的に参加していきます。

役員は全員留任ですが、校区担当の職員が永渕洋二・生涯学習推進課主査に交代しました。

人権尊重の立場から住みよい地域を作っていく活動が今年もスタートしました。

総会終了後、「これからの人権について考える～壱岐地区で学んだこと」というテーマで基調講演会を行いました。

（講演要旨は別掲）

人尊協カレンダー

○理事運営委員会
5月・8月・2月
○人権のつどい
9月19日（土）
○理事・運営委員視察研修
11月17日（火）
大刀洗平和記念館
○男女共同参画講演会
1月26日（火）

基調講演　これからの人権について考える

講師の守田義弘館長は昭和51年に福岡市役所に入庁、翌昭和52年に壱岐公民館に配属され、以来平成25年3月に退職するまで人権・同和教育畑を歩いてこられました。

昭和54年に福岡市で最初の人権尊重の地域組織となる「壱岐地区社会同和教育推進連絡協議会」の設立に尽力された、地域の人権啓発の生き字引的存在です。

当時の壱岐校区（現在の壱岐・壱岐南・壱岐東・福重）で、地域団体と連携しながら同和問題解決へ取り組んできた歴史を紹介されました。

福岡市としても人権・同和問題に対する取組を進めてきたことや、それでもまだ部落差別は解消していないことを、近年多発している差別落書きなどの例を挙げて語られました。

社会には「差別する人・される人」がいますが、いつ立場が逆になるかわかりません。常にどちらか一方というわけではないのです。人権・同和問題に無関心の人が多いのは残念なことです。自分の問題としてとらえ「差別をなくす人」になりましょう、と訴えられました。

みちしるべ

およげ！たいやきくん男女共同参画の海を

国連は1975年を国際婦人年と定め、〝平等・発展・平和〟をスローガンに6月23日メキシコシティで国際婦人年世界会議が開催されました。この年はまた、「およげ！たいやきくん」が流れ、ハウス食品のCM「ワタシ作る人、ボク食べる人」が批判にさらされ、放送中止に追い込まれた年でもあります。

日本では1999年6月23日「男女共同参画社会基本法」を公布施行し、23日から29日までを「男女共同参画週間」と定めました。福岡市では11月3日から9日までを福岡市男女共同参画週間としています。

能力を発揮できる男女共同参画社会については、女性のためにそうしなければならない、と思っている人がまだたくさんいます。しかし、年金や介護の支え手の問題一つをとってもわかるように、性別役割分担意識など社会の制度や慣行を改めなければ、私たちの将来はありません。15年もかかってもまだ変革のスピードは鈍く、時には逆行したりしています。

いまこそ「男女共同参画社会」の意義を考えその実現のために努力しましょう。

（いきみなみ人権尊重推進協議会）

第23回シニア・グラウンドゴルフ大会

5月10日壱岐南小学校校庭と戸切公園を会場に、老人クラブ連合会主催の「第23回シニアグラウンドゴルフ大会」を開催しました。当初は9日の土曜日に開催予定でしたが、雨のため1日延期となりました。

88人の参加者は夏を思わせるような日射しのなか、真剣にそして楽しくプレイし、いい汗をかきました。

成績は次のとおりです。

優　勝　原　勝巳（野方5丁目）
準優勝　池上文代（野方3丁目）
第三位　江藤　勲（野方5丁目）
第四位　吉岡武俊（野方5丁目）
第五位　堤　強（壱岐団地）

（老人クラブ連合会）

◎今年も盛大に◎ 壮年ソフトボール大会

壱岐丘中学校グラウンドで5月10日、13自治会からすべてのチームが出場し壮年ソフトボール大会を行いました。

選手たちは年代別に色分けされたゼッケンを胸につけ、溌剌とプレイしていました。

得点差が大きく開いた試合もあれば、同点でジャンケンにより決着をつけた試合もあり、グラウンドは一日中歓声に包まれました。

大会の結果は

◎優　勝　橋本町チーム
◎準優勝　野方南1区チーム

となりました。

優勝した橋本町は、8月30日(日)に今津運動公園で行われる予定の西区壮年ソフトボール大会に出場します。

（体育振興会）

✹プレミアム商品券販売✹
壱岐・野方商店連合会

壱岐・野方商店連合会の第10回総会が5月10日壱岐南公民館で開催されました。

ちょうど10年前の6月に設立された商店連合会は、「地域の活性化をめざすと共に、愛される商店会をめざす」ことを目的にスタートしました。

初年度には、西陵高等学校の協力を得てシンボルマークを作成しました。そして、花いっぱい運動や、いきみないと祭り協賛スタンプラリーの実施、いきみなみ体育祭への協力など目的どおり、地域と共に活動されています。

さて今年度の注目すべき事業は、福岡市が行う「プレミアムつき地域商品券発行支援事業」を活用しての「プレミアム商品券」販売です。これは1万円分の商品券で、1万2千円分のお買い物ができるというもので、2割もお得となります。

商店連合会の溝口隆夫会長は「ぜひ商品券をお買い上げいただき、商店連合会でたくさん使ってください」と話しています。

「プレミアム商品券」の販売期間や場所については後日お知らせします。

はじめまして！花壇プロムナードいきみなみ

壱岐南小学校校庭の南側にある花壇に名前がつきました。

この花壇は、「橋本駅周辺まちづくり協議会」がまちづくりの一環として計画し、2011年に戸切通線の拡幅工事に伴い、壱岐南小学校の校庭を4メートル削って作られたものです。

花壇の手入れは「青パト隊」の皆さんが巡視を兼ねて散水したり、小学校の「花ボランティア」の好意に甘えていました。

しかし、このままではいけない、と自治協議会が音頭をとり昨年9月「花壇プロムナードいきみなみ」が発足しました。

現在は「青パト隊」が従来どおり散水をするほか、執行佳子代表を中心に10人ほどのメンバーで、毎月第4水曜日に花壇の手入れを行っています。

◎はじめませんか？緑のカーテン◎

生活環境委員会は、地球温暖化防止のために、と今年も**「第6回緑のカーテンコンクール」を**行います。

昨年は7月～8月に行い、60軒の参加がありました。担当者は「今年は80軒を目標にしています」と、コンクールへの参加を呼びかけています。

緑のカーテンは窓からの日射しをさえぎり、室温が上がるのを押さえる効果があります。

それだけ冷房の設定温度を高くすることができます。

あなたも今年は「緑のカーテン」を作って猛暑・酷暑をしのいでみませんか？そして地球温暖化防止に協力しましょう。

《大きさ》
日当たりの良い窓や壁に作られた、間口2メートル以上のもの

《期　間》
7月～8月。8月中・下旬に審査用写真を撮影に伺います。

《表　彰》
後日公開審査会を開き、金賞・銀賞・銅賞を選びます。参加者全員に参加賞があります。

《申　込》
7月31日（金）までに①名前②住所③電話番号を明記し、公民館に申し込んでください。

電話でも受け付けます。

☎（812）0686

あおぞら 社協ニュース No.118

「孤独死」のない地域をめざして
～社会福祉協議会総会～

壱岐南校区社会福祉協議会は、4月10日に壱岐南公民館で36人が出席して総会を開催しました。役員が提案した事業報告・決算、事業計画案・予算案はすべて承認され、活動がスタートしました。

いま校区では、高齢者夫婦だけの世帯、高齢者が一人暮らしをしている世帯が年々増えています。このような状況で、社会福祉協議会としてどういう活動をしていくのか、が問われていると考え、今年度は以下の5事業を中心に活動していくこととしました。

☆「地域包括ケアシステム」の学習

2025年には団塊の世代が75歳以上となり、介護が必要な高齢者が急増すると見られます。そこで、今年4月から介護保険法を改正し、これまで全国一律だった介護予防サービスのうち、訪問介護と通所介護を地域(＝福岡市)へ移行されることになりました。

国は持続可能な社会保障制度の確立のため「地域包括ケアシステム」を作ろうとしています。具体的にどういうことなのか、社会福祉協議会としてどう対応すべきなのか、学習します。

☆男の料理教室新スタート

一人暮らしに備えるためにも、男性の生活的自立は重要です。また「料理を習いたい」と切実に待っていらっしゃる男性も多いことでしょう。

新しく参加者を募り、男の料理教室をはじめます。

☆ふれあい配食

76歳以上の一人暮らし、または76歳以上の方だけでお暮らしの方々を対象に、今年度も6月・11月・2月にお弁当をお届けします。

☆ふれあいネットワーク交流会

高齢者や障がいのある方、子育て中の方などを地域で見守ったり日常生活のお手伝いをするなど、自治会を単位として地域住民が相互に助け合う地域づくり活動を「ふれあいネットワーク」といいます。

今年度も6月と1月に交流会を開催します。

☆ふれあいサロン研修会

急速に高齢化が進む壱岐南校区では、地域での支え合い、助け合いがますます重要になっています。

現在、校区では9つのサロンが活動していますが、高齢者がつどい、学び合い、語り合うサロン活動の充実が期待されています。

そのため年2回、9月と3月に研修会を実施します。

「ふれあいサロン」の活性化のために

3月11日、壱岐南公民館で「ふれあいサロン」を続けていくためのサロン事業関係者会議を開きました。

まず、「サロン」の決算報告書提出について西区社会福祉協議会の縄田優美さんから説明を受けました。

その後、次の2つのテーマでサロン事業者と校区社協との懇談会を行いました。

初めのテーマ「サロン活動を続けていくためには」について

①利用者とボランティアの垣根を作らない　②男性の参加が少ないので、男性の仕事を作る　③世代交代が進んでいないので、工夫が必要などの意見がありました。

2つめのテーマ「サロン活動の効果をどんなときに感じるか」で、これには①子どもの参加が多いとき　②楽しみにして来られるとき　③体操を取り入れてから葬儀を出していないなどの声がありました。

また、テーマにはなかったことですが「マンネリ化をどのように活性化していくか」「これからは送迎の必要も出てくる」等、活発な意見交換ができ、実りのある会議となりました。

おいでよ「ふら～っとカフェ」

第3回「ふら～っとカフェ壱岐南」を、4月5日に特別養護老人ホーム「マナハウス」で開催しました。公民館と違った場を作ってみようという発想で、「マナハウス」さんの協力を得て実現しました。

今回は、壱岐・野方商店連合会にも出店を呼びかけたところ、準備期間が短かったにもかかわらず数店の協力がありました。しかも、利用者の皆さんには大好評でした。次回はもっと多くの出店を期待しています。

なお、今回の参加者は12人でした。

さて第5回目は6月7日(日)の10時から15時の予定です。会場は「かりん」ですのでお間違えのないようにご注意ください。

送迎などのお問い合わせは(090)3418-9000／サポーター・淀まで。

一人暮らしになっても困らない!!
―「新・男の料理教室」参加者募集―

腕に覚えがある方も、ない方もどなたでも「料理を習いたい」と思っている方、大募集！今のうちに料理を覚え自立したい方、みんなでわいわい語り合いながら料理教室で人とのつながりをつくろう!!

日 時：6月29日(月)　9時～
会 場：壱岐南公民館／会 費：1,000円

※公民館に申込用紙を用意しています。**6月10日(水)まで**に公民館に申し込んでください。
※女性の方もご参加ください。

西区社会福祉協議会 賛助会員加入のお礼
(平成27年3月1日～5月10日)

(敬称略・受付順)

個人
福田　正治・福田　悦子
三船　潤子・金子　哲男
金子　直子・井上　芳人
森　律雄・大塚　恵
大塚　住江・西島　猛
秦　芳宣・向井紀美子

ありがとうございました。

《賛助会員を募集します》
西区社会福祉協議会

お申込は校区社会福祉協議会へ＝窓口は壱岐南公民館となっています。
※賛助会費の半分(50%)は校区社会福祉協議会に配分されますので、あなたの会費が地域の福祉に役立ちます。

個人(1口)1,000円／団体・法人(1口)10,000円

編集後記

2ヶ月分の「みなみかぜ」は記事が多く、編集後記がこんな所に来てしまいました。

今年度も「安心・安全のすみよいまち」をめざして発行していきます。

※人の心を浮き立たせる桜

「ふれあいサロン萩ケ丘」では3月30日正午から、集会所広場の大谷池フェンス横にテントを張り、33人の参加でお花見をしました。

昨年までは4月上旬に開催していましたが、年々桜の開花が早くなり、満開のタイミングに合わない状況が続いていました。そこで今年からは、3月後半のサロンを月末に設定して、お花見を開催することにしました。

当日は申し分ない温暖な晴天で気分は上々。簡単な花見弁当、桜もち、ボランティア手作りのゴマだんごや漬け物を頂きながら、ちょっとだけビールも味わってますます盛り上がりました。

ボランティアの提供でカラオケもセットできて、懐メロを中心にみんなが知っている歌を口ずさみました。また、3月から「サロンの歌」にしようと取り組んでいる、新井満作詞・作曲の「この街で」をみんなで歌いました。

桜はまさに人の心を浮き立たせる、ということを実感した一日でした。

(通信員　今嶋　修)

「この街で」の歌詞を持って参加のみなさん

各地から桜だよりが届きました

※桜をライトアップ

春らんまんのこの時期に、野方南2区自治会は道隈西公園の桜の木約30本にちょうちん40個を取りつけ、ライトアップを実施しました。

3月23日の点灯式には約100人の参加があり、ライトアップされた桜を楽しみました。

当初31日までの予定でしたが、4月4日まで点灯し、期間中に自治会体育部門、福寿会の皆さまがそれぞれ25人、55人と、桜の花と一緒に飲んだり食べたりして楽しい時を過ごす姿も見られました。

このライトアップは、西区の「地域デビュー応援事業」を活用して行いました。

(通信員　中嶋哲之助)

※雨にも負けず花見会

橋本ニュータウン春の町内親睦会『花見会』を4月5日、町内の公園で開催(＝写真)。前日は大雨、当日も雨の予報とあって、雨よけ対策をしたものの、町民の熱意で一滴の雨もなく桜花らんまんの中、盛会だった。

融和をモットーにしているだけに、アルコールにのどを鳴らし、ごちそうに舌づつみを打ちながら「良かったね、花見ができて」「豊かな気分になった」と満足げ。あちらこちらで笑いが絶えず、和気あいあい。日本式の〝伝統の宴〟に感謝した一日だった。

(通信員　岡村哲彦)